

製品名: FAF1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10799**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

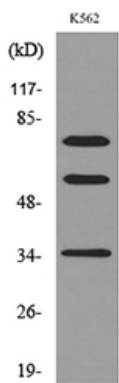
遺伝子名	FAF1
別名	FAF1; UBXD12; UBXN3A; CGI-03; FAS-associated factor 1; hFAF1; UBX domain-containing protein 12; UBX domain-containing protein 3A
遺伝子 ID	11124.0
SwissProt ID	Q9UNN5
免疫原	抗血清はヒト FAF1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 461-510

背景

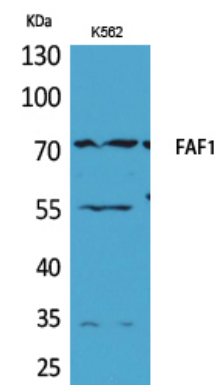
Fas リガンド (TNFSF6) と FAS 抗原 (TNFRSF6) の相互作用は、多くの臓器系でアポトーシスとも呼ばれるプログラム細胞死を媒介します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は FAS 抗原に結合し、アポトーシスを開始したり、FAS 抗原によって開始されたアポトーシスを増強したりできます。この遺伝子によってコードされるタンパク質によるアポトーシスの開始には、ユビキチン様ドメインが必要ですが、FAS 結合ドメインは必要ありません。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: FAS 誘導性アポトーシスを増強しますが、開始することはできません。類似性: 1 つの UBX ドメインを含みます。サブユニット: FAS の細胞質ドメインと特異的に相互作用します。組織特異性: 精巣に最も多く、骨格筋と心臓にやや少なく、前立腺、胸腺、卵巣、小腸、結腸と続きます。末梢白血球では検出されない。

研究分野

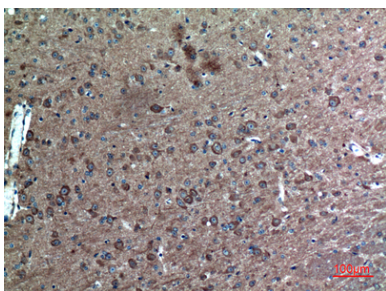
画像データ



FAF1 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



FAF1 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された